# DēLonghi
# blanc
## Drip Coffee Maker

# デロンギ
# ブラン
# ドリップコーヒーメーカー

型式番号 家庭用 **CM300J**

※本体の型式番号「CM300J」の後に続くハイフン
およびアルファベットは、色番号を表すものです。

# 取扱説明書

このたびは、デロンギ製品をお求めいただき、誠にありがとうございました。本製品を正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。お読みになった後は、保証書（裏表紙）と共に大切に保管してください。

保証書付

Made in China

## CM300J の特長

●**抽出と保温を別々のヒーターで行う「デュアル・ヒーティング・システム」**
保温プレートには PTC ヒーターを採用。

●**シャワードリップ機能**
9 つの穴から出てくるシャワー状のお湯がコーヒーパウダーに注がれることにより、ムラなくおいしいコーヒーの抽出が可能になりました。

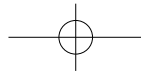
●**ドリップストップ機能**
ドリップストップ機能がついているため、抽出中にガラスジャグを外してもドリッパーからコーヒーが漏れにくい設計。

●**シュアグリップデザイン**
ガラスジャグの取っ手は、しっかり握れて滑りにくいデザインで安心です。

●**LED スイッチランプ**
電源ランプには LED ライトを採用。

●**ペーパーレスフィルター**
ペーパーレスフィルターは、エコで経済的。

## 目次

# 安全上のご注意

1. ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
2. ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への損害を未然に防止するものです。
3. 注意事項は、誤った取り扱いで生じることが想定される内容を、その危害や損害および切迫の度合いにより、「警告」「注意」の２つに分け、明示しています。

**警告**　「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

**注意**　「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

4. 各注意事項には、「禁止」または「強制」を促す絵表示が付いています。

| この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。 | | | この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。 |
|---|---|---|---|
| ：禁止 | ：接触禁止 |  ：水ぬれ禁止 |  ：指示を守る |
|  ：分解禁止 |  ：ぬれ手禁止 | |  ：電源プラグを抜く |

## 警告

### 電源／コンセントについて

**電源は交流 100V（50/60Hz）で「15A 125V」と記されている壁面のコンセントに直接差し込む**
火災・感電の原因。

15A 125V

**コンセントは本製品だけ（単独）で使用する**
発火の原因。
• 他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱します。

**取り付けの悪いコンセントは絶対に使わない**
火災・感電の原因。

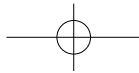
**延長コードやテーブルタップなどは使わない**
発火の原因。
• コンセントや電源プラグ、電源コードが異常発熱します。

### 電源プラグ・電源コードについて

**電源プラグやコンセントに付いているホコリやゴミは、定期的に取る**
火災の原因。

**濡れた手で電源プラグを抜き差ししない**
感電・けがの原因。

**電源プラグは、根元までしっかりと差し込む**
火災・感電の原因。

**動作中に電源プラグを抜き差ししない**
感電、火災の原因。

# 警告

## 電源プラグ・電源コードについて

電源プラグや電源コードが異常発熱している場合は、電源を切り電源プラグを抜く

ショートによる発火の原因。

→お求めの販売店または当社サービスセンター（P.14）に相談する。

電源プラグや電源コードを破損するようなこと※はしない

※傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を乗せる、束ねる、挟み込むなど。

火災・感電の原因。

→電源コードが破損している場合は、お求めの販売店または当社サービスセンター（P.14）に相談する。

## 使用中・使用後について

自分で分解・修理・改造は行わない

火災・感電・けがの原因。

子供だけで使わせたり、幼児の手が届くところで使わない

やけど・感電の原因。

異常が生じた場合は、直ちに使用を中止し、電源プラグを抜く

火災・感電・やけど・けがの原因。

→お求めの販売店または当社サービスセンター（P.14）に相談する。

他の用途や屋外で使用しない。家庭用として使用し、業務用として使用しない

故障の原因。

- 本製品はコーヒーの抽出など、家事専用（家庭用電気製品）です。

本体や電源コード、電源プラグに水をかけたり、水に浸けたりしない

感電・火災の原因。

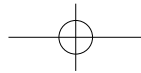
# 注意

## 電源プラグ・電源コードについて

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って抜く

感電・ショートによる発火の原因。

長期間使わなかった場合は、電源プラグを抜く

絶縁劣化による感電・火災の原因。

# 注意

## 使用中／使用後について

ガラスジャグなしで抽出しない
やけどや故障の原因。

ガラスジャグを乗せたまま本体を動かさない
やけどの原因。

抽出中にふたを開けない
やけどの原因。

水タンクに牛乳やお湯など、水以外のものを入れない
やけどや故障の原因。

コーヒー抽出中、抽出直後に本体のふたを開けない
やけどの原因。

抽出中にガラスジャグを外さない
やけどや故障の原因。

他製品の部品や付属品などを組み合わせて使わない
故障やけがの原因。

使用中や使用後しばらくは保温プレートに手を触れない
やけどの原因。

蒸気が出る所に触ったり、顔などを近づけない
やけどの原因。

## お手入れについて

お手入れは電源プラグを抜き、各部が冷めてから行う
やけどの原因。

## 設置場所について

不安定なところや熱に弱いテーブルや敷物などの上では使用しない
テーブル・敷物の変色・変形や火災の原因。

火気の近くで使わない
火災の原因。

壁や家具の近くでは使用しない
蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因。

台やテーブルなどからはみ出した状態で使わない
けが・やけどの原因。

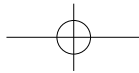
# 仕様

| 製品名称／型式番号 | | デロンギ ブラン ドリップコーヒーメーカー／CM300J |
|---|---|---|
| 定格 | 電圧／周波数 | 交流 100V／50/60Hz |
| | 消費電力 | 1050W |
| 温度過昇防止装置 | | 温度ヒューズ |
| 外形寸法（約） | | 幅 170 ×奥行き 280 ×高さ 280（mm） |
| 質量（約） | | 2.5kg |
| 容量 | 水タンク | 最大：780mL（水容器一体式） |
| | ガラスジャグ | 最大：780mL |
| 材質 | 本体<br>バスケット<br>ペーパーレスフィルター取っ手<br>ペーパーレスフィルターフレーム<br>ガラスジャグふた<br>ガラスジャグハンドル | ポリプロピレン |
| | ガラスジャグ | ホウケイ酸ガラス（耐熱ガラス） |
| | ペーパーレスフィルターメッシュ部 | ナイロン |

| 別売品 | |
|---|---|
| ガラスジャグ | 型式番号：CM300J-GJ |
| ペーパーレスフィルター | 型式番号：CM300J-PF |
| ゴールドフィルター | 型式番号：KF2 |

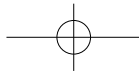
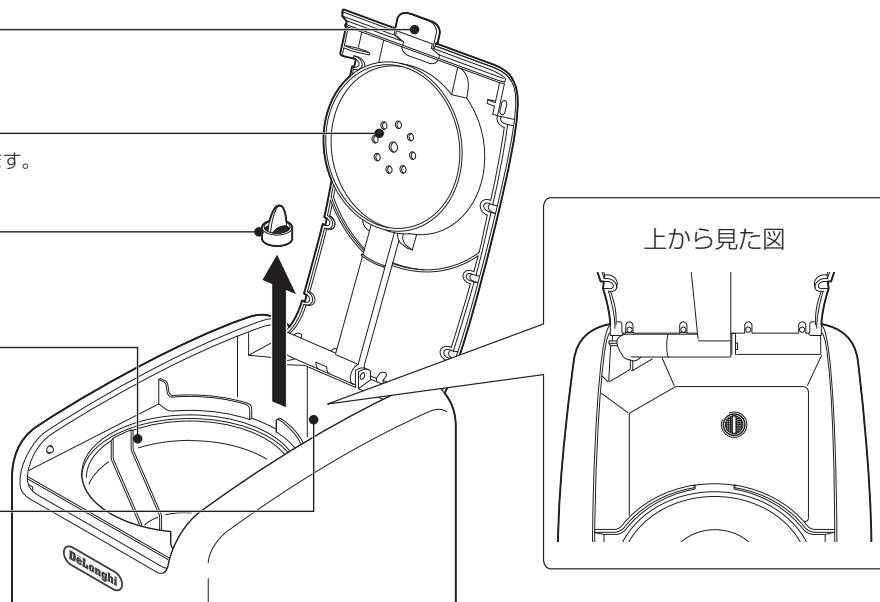
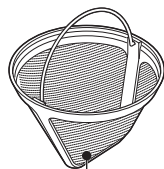
お求め方法 ▶お買い上げの販売店または当社オンラインショップでお求めください。
オンラインショップ URL ▶ http://shop-casa-delonghi.com

**この製品は欧州RoHS指令に適合した製品です。**

欧州RoHS指令とは、「電気・電子機器の特定有害物質の使用制限」を規定した欧州連合（EU）による指令です。
この製品は、鉛及びその化合物、水銀及びその化合物、六価クロム化合物、カドミウム及びその化合物、ポリブロモビフェニル（PBB）、ポリブロモジフェニルエーテル（PBDE）の含有率が、いずれも含有率基準値以下であり、環境に配慮して製造されました。

# 各部の名前とはたらき

## 本　体

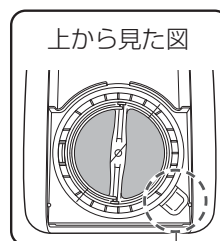
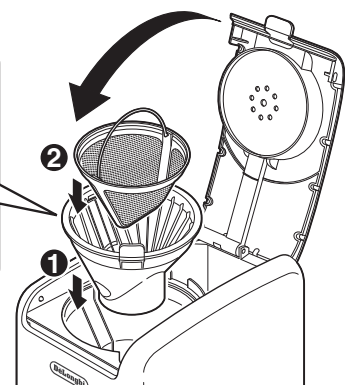
## ふた・水タンク内部

## 付属品

### フィルターのセット

**フィルターのセット**

❶本体のふたを開け、バスケットホルダーにバスケットをセットする
- バスケットホルダーに、バスケットが正しくしっかりとはまるようにセットします。（バスケットホルダーの溝にバスケット取っ手を合わせてセットしてください。）

❷バスケットにペーパーレスフィルターをセットし、ふたを閉める

各部の名前とはたらき

# 初めてお使いになる前に

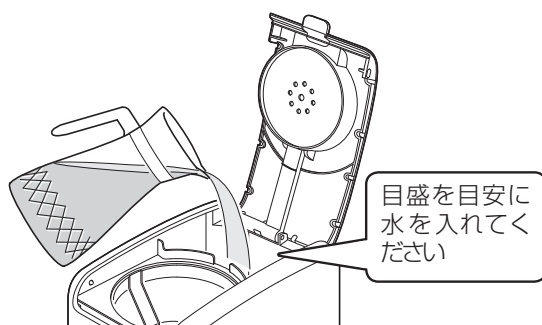
初めて本製品をお使いになる前に、各部品の水洗い（P.11）、内部洗浄を行います。

## 内部洗浄（必ず行ってください）

初めてお使いになる場合や長期間使用しなかったときは、各パーツおよび水の通り道の洗浄（内部洗浄）をしてください。コーヒー粉を入れずにお湯の抽出を 2 回程度繰り返すことで、内部洗浄が完了します。

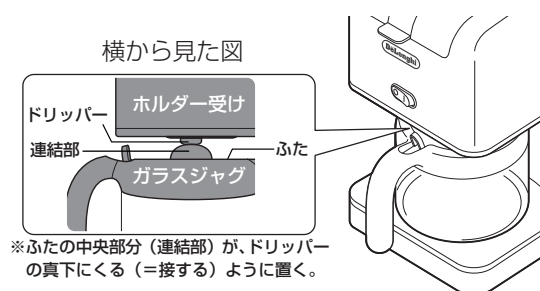
### 1 水タンクに水を入れる

水タンク内部にある水量表示 6 (max) の目盛まで水を入れてください。

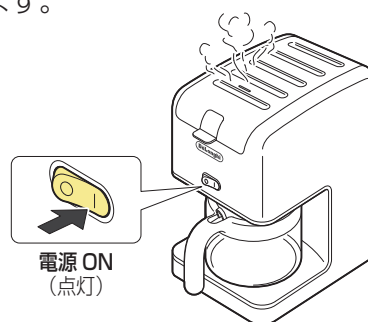
※ max の目盛より多く水を入れないでください。それ以上入れると、給湯時にガラスジャグからお湯があふれます。

### 2 フィルターをセットし、本体のふたを閉める

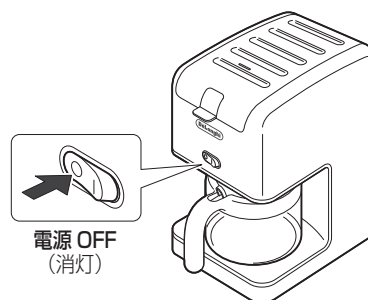
詳細は、「フィルターのセット」（P.6）を参照してください。

### 3 ガラスジャグを、保温プレートに乗せる

※ふたの中央部分（連結部）が、ドリッパーの真下にくる（＝接する）ように置く。

### 4 電源プラグをコンセントに差し込む

### 5 電源スイッチを押して ON にする

**電源スイッチが点灯**し、しばらくするとボコボコという沸騰音と共に給湯が始まります。

蒸気が出る所に触ったり、顔などを近付けない。（やけどの原因）

### 6 電源スイッチを押して OFF にし、ガラスジャグのお湯を捨てる

### 7 手順 1 〜 6 を、もう一度行う

内部洗浄が完了しました。

# 知っていただきたいこと

## コーヒー粉の量の目安

コーヒーカップ
1 杯分の抽出量は
約 125 ～ 130mL。
マグカップ
1 杯分の抽出量は
約 200 ～ 215mL。

※水量がタンクの目盛にない 1 杯抽出の場合は、お手元のカップ等で測ってください。
※コーヒー粉の量は目安ですので、お好みで調整（最大 6 杯）してください。

⚠ アイスコーヒーを作るときは、予めガラスジャグに直接氷を入れて抽出したり、冷蔵庫などで急速に冷やすことはお止めください。

ホットコーヒー（コーヒーカップ使用）の場合：ガラスジャグ左側の目盛りを目安に注水します。

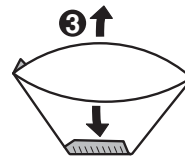
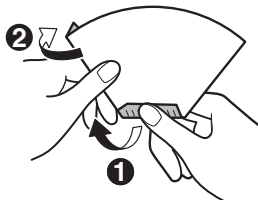
| ご希望の杯数 | 注水量 | コーヒー粉の量<br>（計量スプーンの杯数） |
|---|---|---|
| 1 | 1 | 1 |
| 2 | 2 | 2 |
| 3 | 3 | 3 |
| 4 | 4 | 4 |
| 5 | 5 | 5 |
| 6 | 6 | 6 |

※アイスコーヒーを作る場合には、上記の倍の粉量をお使いください。ただし、倍の粉量が計量スプーン 6 杯を越えないようにしてください。
※計量スプーン 6 杯分を超える量のコーヒー粉を使用すると、抽出時にフィルターから粉があふれ出る原因となります。

## ペーパーレスフィルターに使用するコーヒー粉は…

中細びきから粗びきのコーヒー粉を使用してください。
中細びきよりも細かい粉を使用すると、多量のコーヒーを抽出する際に、溢れてくるおそれがあります。
また、ペーパーレスフィルターは微細な穴からコーヒーを通す構造になっているため、粒度の細かいコーヒー粉がコーヒーに混じることがあります。気になる場合は、ペーパーフィルターをお使いください（市販のペーパーフィルターサイズ 1 × 4、または 103）。

## ペーパーフィルターの折り方

2 か所のミシン目で折って広げた後、
バスケットにセットする

# コーヒーをいれる

## 準備

**水**

新鮮な水道水（浄水器・清水器を通した水も含む）や軟水（硬度 90mg/L 以下）のミネラルウォーターが適しています。
※硬水を使用すると石灰分が詰まりやすくなります。

**コーヒー粉**

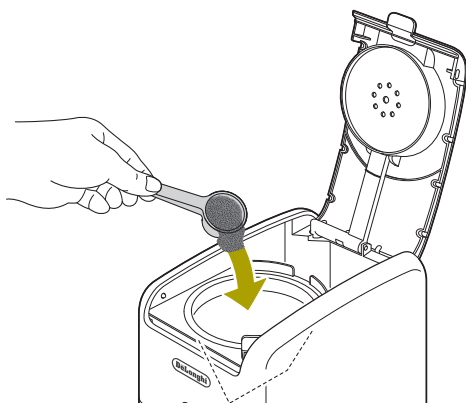
粗びきから中細びきの新鮮なコーヒー粉を使用してください。

### 1 フィルターをセットする

詳細は、「フィルターのセット」（P.6）を参照してください。

### 2 コーヒー粉を入れる

付属の**計量スプーン**を使って**適量**のコーヒー粉を入れます。

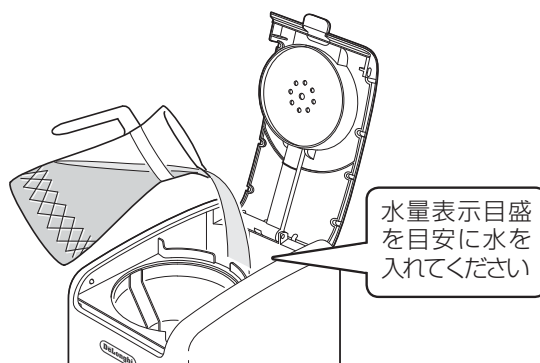
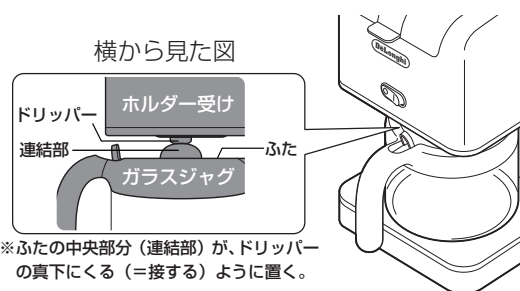
● コーヒー粉の目安については、「コーヒー粉の量と出来上がり時間の目安」（P.8）を参照してください。

### 3 水タンクに水を入れ、本体のふたを閉める

ご希望の抽出量にあわせ、必要な水量をタンクに入れます。（P.8）

※ max の目盛より多く水を入れないでください。それ以上入れると、抽出時にガラスジャグからコーヒーがあふれます。

ふたをきっちりと閉めてください。

### 4 ガラスジャグを、保温プレートに乗せる

※ふたの中央部分（連結部）が、ドリッパーの真下にくる（＝接する）ように置く。

# 抽出

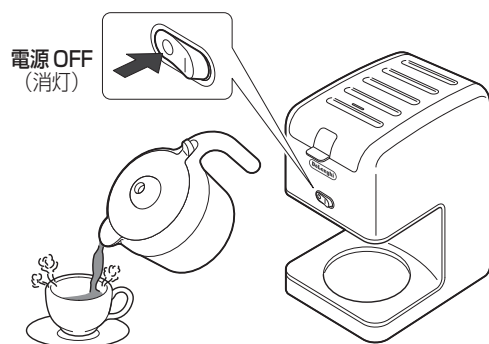
## 1 電源を入れる

プラグを壁面のコンセントに直接差し込み、**電源スイッチ**を押して ON にします。

**電源スイッチが点灯**し、しばらくすると、ボコボコという沸騰音と共にコーヒーの抽出が始まります。

蒸気が出る所に触ったり、顔などを近付けない。（やけどの原因）

## 2 抽出終了後、電源を切り、ガラスジャグを降ろす

水タンクの水が無くなるとシューッという音だけになり、コーヒーの抽出が終了します。抽出が終わったら、**電源スイッチ**を押して電源を切ります。

続けてコーヒー抽出を行う場合は、電源を切り、5分以上の休みを入れてください。すぐに水タンクに水を入れたり、動かしたりすると、蒸気が噴出してやけどをする恐れがあります。

保温プレート周辺の金属部、および抽出終了直後のホルダー受け内部やドリッパーは高温ですので、触れないでください。
また、お手入れは、各部が冷えてから行ってください。

## 3 使用後は、必ずプラグをコンセントから抜く

### アイスコーヒーを作るとき

❶ ガラスジャグのふたを開けて、氷を入れて、かきまぜながら冷やす（氷は抽出後に入れる）

※氷を入れすぎると、ガラスジャグのふたを閉めた際に、コーヒーが溢れることがあります。

❷ ガラスジャグのふたを閉めて、カップにアイスコーヒーを注ぐ

# お手入れ

お手入れはこまめに!

お手入れは、電源プラグを抜き、各部が完全に冷めてから行う。(やけどの原因)
※石灰除去の際は除く

本体や電源コード／プラグを水に浸したり、水洗いしない。(感電・火災の原因)

**お手入れ時のご注意**

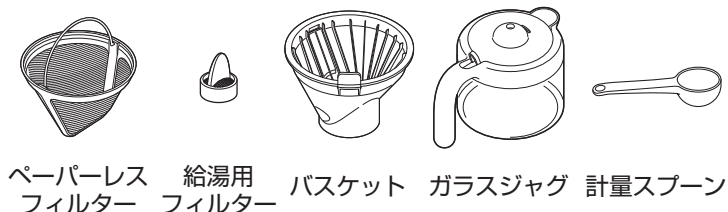
- 漂白剤、ベンジン、シンナーなどは使用しない。(変形や割れる原因)
- ワイヤーウール、たわし、金ブラシ、研磨剤、スポンジのナイロン面などは使用しない。(表面が傷つく原因)
- 台所用洗剤（中性）を使う場合は、薄めて使う。
- 食器洗浄機や食器乾燥機、お湯などは使わない。(変形や割れる原因)

## 水洗いできるものとできないもの

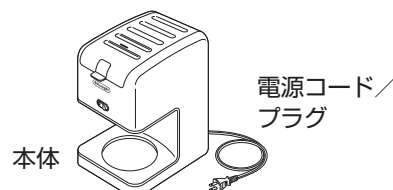
**洗える（使うたびに洗う）**

ペーパーレスフィルター

給湯用フィルター

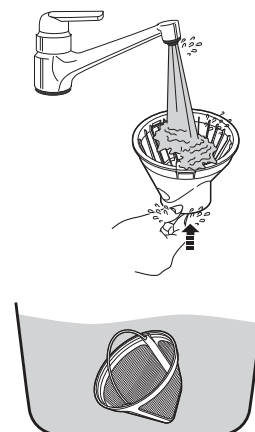
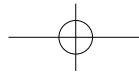
バスケット

ガラスジャグ

計量スプーン

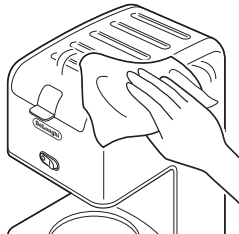
**洗えない（汚れるたびにお手入れする）**

## 毎日のお手入れ

### ペーパーレスフィルター、給湯用フィルター、バスケット、ガラスジャグ、計量スプーン

使用後は、毎回、台所用洗剤と柔らかいスポンジで洗い、水ですすいでください。

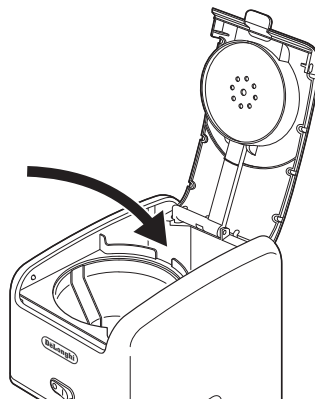
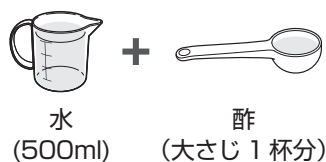
- バスケットは、ドリッパーを押し上げて水ですすいでください。
- ペーパーレスフィルターがコーヒーの油脂分で目詰まりした場合は、少量の台所用洗剤を入れたぬるま湯にしばらく浸けてから、水ですすいでください。

## 必要なときに行うお手入れ

### 本体表面（拭く）

- 固く絞った濡れ布きんで拭きます。
- 汚れがひどい場合は、少量の台所用洗剤をつけた布で拭いてから、濡れ布きんで洗剤をよく拭き取ってください。
- 必要に応じて内部洗浄を行います。（P.7 参照）

### 電源コード／プラグ（拭く）

乾いた布で拭いてください。

## 石灰の除去

長く使っていると、内部の給湯管などに水中の石灰分が付着し、お湯の出が悪くなったり、コーヒーの温度が低くなる場合があります。使用頻度にもよりますが、約 6 ヵ月に一度を目安に、下記の要領で石灰の除去を行ってください。

※水タンク内部にある水量表示目盛 max の位置より多く入れないでください。

❶ 約 500mL の水と大さじ 1 杯分の酢を水タンクに入れる

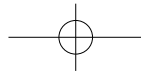
❷ ガラスジャグを保温プレートに乗せ、電源スイッチを押して ON にする

❸ 約 1 分後、電源スイッチを押し、給湯を止める

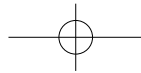
❹ 15 分ほど待ち、電源スイッチを押し、給湯を再開する

❺ 給湯が終わったら、電源スイッチを押して電源を切り、ガラスジャグの中のお湯を捨てる

❻「内部洗浄」（P.7）の手順 1 ～ 6 の操作を酢のにおいが取れるまで行う。

● 水タンクには水だけを入れます。

# 故障かな？

使用中に異常が生じた場合は、直ちに電源を切り、使用を中止してください。電源プラグをコンセントから抜いて、以下の点を確認してください。それでも正常に機能しないときは、お買い求めの販売店または当社サービスセンター（P.14）までお問い合わせください。

| 状　態 | 予　想　さ　れ　る　原　因 | 対　処　の　し　か　た |
|---|---|---|
| **コーヒーが抽出されない／ガラスジャグに落ちてこない** | プラグがコンセントに入っていない | プラグをコンセントに差し込む |
| | 電源が入っていない | 電源スイッチを押して、電源を入れる<br>→電源スイッチが点灯 |
| | 水タンクに水が無い | 水タンクに、水を入れる |
| | バスケットの取り付けが不完全 | バスケットホルダーに、正しい向きで取り付ける（P.6） |
| | ドリッパーにコーヒー粉が詰まっている | バスケット先端のドリッパーを押し上げて、水洗いする（P.11） |
| | ペーパーレスフィルターの取り付けが不完全 | バスケットに、正しい向きでセットする |
| | コーヒー粉が入っていない | ペーパーレスフィルターに、コーヒー粉を入れる |
| | 本体のふたが開いている | ふたをしっかりと閉める |
| | ガラスジャグが、保温プレートに乗っていない／保温プレートからずれている | ガラスジャグを、保温プレートの中央に乗せる |
| **コーヒーの出（落ち）が悪い** | ペーパーレスフィルターの目詰まり | 少量の台所用洗剤を入れたぬるま湯にしばらく浸けてから、お手入れをする（P.11） |
| | ドリッパーにコーヒー粉が詰まっている | バスケット先端のドリッパーを押し上げて、水洗いする（P.11） |
| | コーヒー粉のひき具合が細か過ぎる | やや粗めにひいた粉を使う<br>市販のペーパーフィルターを使用する |
| | 給湯管に石灰が付着している | 石灰の除去をする（P.12） |
| **コーヒーに多量の粉が混じる** | コーヒー粉のひき具合が細か過ぎる | やや粗めにひいた粉を使う<br>市販のペーパーフィルターを使用する |
| **コーヒーがガラスジャグから溢れる** | 水タンクの水量が、最大量を超えている | 最大水量（タンクの目盛６）を超えないこと |
| **コーヒーがフィルター受けから溢れる** | バスケットの取り付けが不完全 | バスケットホルダーに、正しい向きで取り付ける（P.6） |
| | ドリッパーにコーヒー粉が詰まっている | バスケット先端（ドリッパー）を押し上げて、水洗いする（P.11） |
| | ペーパーレスフィルターの取り付けが不完全 | バスケットに、正しい向きでセットする |
| | コーヒー粉の入れ過ぎ | コーヒー粉の最大量（計量スプーンすりきり６杯）以上を入れないこと |
| | ガラスジャグが保温プレートに乗っていない／保温プレートからずれている | ガラスジャグを、保温プレートの中央に乗せる |
| **抽出したコーヒーがぬるい** | コーヒー豆／粉を冷蔵庫・冷凍庫に保管していた | コーヒー豆／粉が常温になったのを確認して使用する |

# アフターサービスについて

1)使用中に異常（★）が生じた場合は、ただちに電源を切り、プラグをコンセントから抜いてください。その後、13ページの「故障かな？」で調べても正常に機能しない場合は、お求めの販売店またはデロンギ・ジャパン サービスセンター（下記参照）にご相談ください。

〈★以下のような場合には、点検および修理が必要です〉

- 使用中、電源コードおよび電源プラグ、コンセントが異常に熱くなる
- 本体や電源ベースに水などの液体をこぼした
- 電源コード、電源プラグが変形／破損している
- 本体に強い衝撃（転倒・落下）を与えた
- 取扱説明書どおりに使用しているのに、正常に機能しない

2)万一、故障／損傷した場合は、保証書に記載されている販売店に**1.お求め時期　2.製品名称と型式番号　3.故障の状況**――を連絡のうえ、修理を依頼してください。なお、当社サービスセンターにご依頼される場合は、お電話または直接宅配便でお送りください。

※宅配便等を利用して当社サービスセンター（下記参照）に直送される場合は、必ず故障の状況を記したメモを商品パッケージ（梱包箱）に同封してください。

※送り先については、事前にお電話あるいはホームページ（http://support.delonghi.co.jp）にてご確認ください。

3)保証期間中（1年）は、保証書に記載されているものについては、無料で修理いたします。ただし、安全上および使用上の注意を無視しての故障、規格外に改造をしたものは、その限りではありません。また、保証期間が過ぎたものについては、有料で修理いたします。

4)補修用性能部品の保有期間について

当社では、この製品の補修用性能部品について、最終輸入日を起点に5年間保有しております。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5)まごころ点検のおすすめ：長い期間ご使用いただくために、専門技術者による点検（お預かり）をおすすめします。点検の依頼および料金などにつきましては、当社サービスセンターまでお問い合わせください。

※下の枠内に、ご購入年月日を記入してください。点検の目安になります。

| ご購入年月日: | 年 | 月 | 日 |
|---|---|---|---|

6)デロンギ再資源化システムについて

ご不用になった製品は、下記の要領に従い、当社サービスセンターまでお送りください。素材ごとに分別し、再資源化いたします。

**送料について**：再資源化の費用は当社が負担いたしますが、送料はお客様のご負担（元払い）となります。予めご了承ください。

**梱包について**：製品の入っていた箱（元箱）に入れてお送りください。元箱がない場合は、段ボール箱に入れるか、エアーパッキン等にくるんでください。

**※外箱または送り状に、必ず「再資源化」と明記してください。**

**※送り先については、事前にお電話あるいはホームページ（http://support.delonghi.co.jp）にてご確認ください。**

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店または当社サービスセンターまでお問い合わせください。

**デロンギ・ジャパン サービスセンター ▶**（受付時間　土、日、祝日を除く毎日 9:30 ～ 17:00）

**コールセンター**　Tel.0120-804-280 ／ Fax.045-450-3291

〒 221-0022　神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-9　安田倉庫（株）内 4 号ビル

ホームページでのお問い合わせ（URL）　**http://support.delonghi.co.jp**